

## 第4学年東組 音楽科学習指導案

### 「情景を思い浮かべて工夫して歌おう ～『まきばの朝』～」

学習指導者 高口 佳子

#### 1 学級（34名）の実態

##### （1）共に学びを進め合うことに関する学級の実態

質問紙調査の結果を見ると、音楽科の授業で、「何から取り組むとよいかを考えている」子供は25名、「目当てを達成するために、今までに習ったことが使えないかと考えている」子供は29名いる。しかし、実際の授業では解決の見通しをもてていない子供や、学習の進め方を選ぶのに時間がかかる子供が半数程度いる。これまでの学習を蓄積しているファイルに綴じたワークシートを見返し、解決の手掛かりにしようとする子供の姿は見られず、友達の様子を見てから曲の情景や思いを書き始める子供が多い。

##### （2）本題材の学習に関する学級の実態

音楽科の歌唱の授業が好きだと感じている子供は31名いる。その理由として、「歌うことが好きだから」と答えた子供が多い。一方、嫌いな理由としては「自分は音痴だから」と答え、歌うこと自体にマイナスなイメージをもっている子供もいる。「さくらさくら」の題材では歌詞や楽譜を手掛かりにして曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて捉え、表現を工夫しようと前向きに取り組む様子が見られたが、経験が少ないために曲から情景や楽譜の特徴を捉えるか悩んでいる子供もいる。

#### 2 本題材で習得を目指す「解決の見通しをもつ」方法

これまでに学んだことから、使えそうなものを選ぶ

#### 3 本題材で目指す「共に学びを進め合う子供」の姿

題材が変わるとにどの種類の学習なのかを確認したり、整理したりして進めている。まず、本題材の導入では、曲を聴き、様子や題名を想像した後に題名を知る。「どうしてこのような曲想でこの題名になったのかひみつを見付けよう」と学習課題を設定する。音楽の構造や歌詞に目を向けながら「さくらさくら」や「エーデルワイス」のときのように、歌詞と楽譜に分けて曲の構造を詳しく見ていき、さらに曲の構造や情景を思い浮かべて歌うという学習の見通しをもつ。

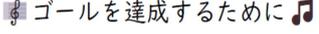
解決の場面では、曲の特徴を捉えるために歌詞と楽譜のうち、どちらか取り組みやすい方、もしくは取り組める方を選択して進めていく。歌詞からは、一番から三番までの歌詞を比べ、「一番から三番まで時間が進んでいるね」「そうだね。一番はまだ暗いけど、二番では人が起き出してきたよ」「三番では日が上っているから一番と比べると明るくなったんだね」などと歌の情景について想像する。楽譜からは、「長い音符を多く使っていて、そのために曲がゆったり感じるね」「なるほど。速度が遅いという特徴だけではなかったんだ」それに「この曲は五段あるけど、どの段も同じリズムのところがないよ」「本当だ。エーデルワイスと違って戻ってきた感じがしないね」とリズムや音符の特徴から曲の特徴を捉える。また、「音符をなぞっていくと上がったり下がったりしているよ」「そうだね。歌うときに強弱を工夫できそうだ」「〇〇さんの意見を聞いて、工夫して歌いたくなかったよ」と、音の高低の特徴を捉えて、表現を工夫につなげていく。実際に歌う場面では、録音機能を用いて自分の歌声を客観的に捉えていく。「録音、聴く、再考する」を繰り返し行い、「穏やかな曲だから強弱は弱く、少しだけ盛り上げて歌おう」などという自分の思いや意図に合う歌い方ができているか確認し、よりよい表現を目指す。

振り返り場面では、「〇〇さんが言った曲想は見付けられなかったな」「△△さんとは同じ意見を書いていたよ」「友達の見聞を聞くと自分が気付いていなかった新しい工夫が見付かった」などと、友達と共に学ぶことのよさを感じ、曲の曲想を捉えたり思いや意図を音楽で伝えようと工夫したりしていく。

#### 4 達成意欲を高める目標共有の工夫 ①時

題名を伏せた状態で曲を聴き、「明るい」「穏やか」「ゆったりとしている」という曲想を捉えられるようにする。そして曲想に合う題名は何かを思い浮かべた後、題名を伝える。そこで、どうして「まきばの朝」という題名なのか、「まきばの朝」を詳しく見ていこうと疑問に思ったことを目標に設定する。学級の豊かな想像力から曲を作った人の曲に対する思いや情景、曲の構造に迫り、工夫して歌うようにする。これまでのワークシートを見て、「さくらさくら」では歌詞と楽譜に分けて詳しく見たことで一番伝えたいことやリズムの繰り返しが多かったことや音の高低に気付き、強弱の工夫をして歌ったことについて振り返り、「まきばの朝」の学習でもひみつを見つけて工夫して歌い、さらに友達に自分の感じた曲想を聴いてもらおうという見通しをもって学習を進めることができるようにする。

#### 5 題材計画と方法の習得の段階に合わせた手立て (本時 1/2)

次	題材計画	方法の習得の段階に合わせた手立て
	<p><b>① まきばの朝のひみつを見付けよう</b></p> <p>まず、曲を聴き、曲想を捉え、歌唱の学習であることを確認する。これまでの学習で曲のひみつを見付けるためには、歌唱の場合、歌詞と楽譜に分けて見ていき、歌ったことを振り返り、「歌詞や音符から分かることを見付けて歌おう」と題材の目標を立て、工夫して歌うために本時では歌詞と楽譜に分けて見付けることを確認し、自分がどちらから考えるか赤白帽子をかぶることで意思表示をする。</p> <p>歌詞では、一番から三番の言葉や、出てくる音の違いを比べる。一番二番三番で時間が変わっていて、一番では、薄暗い早朝の様子で人々が起きていない静かな様子の中に勇ましい鐘の音がカンカンと鳴り響く様子、二番は人々や動物が起き出して人の声や動物の鈴が鳴り響く様子、三番は朝日が差し上り、森や山も朝日に照らされている中、牧童の笛が響く様子が描かれており、朝の時間の移り変わりを歌った曲であることを歌詞から捉える。楽譜では、五段の楽譜や段ごとに同じリズムの繰り返しが無いことに気付き、これまで学習してきた歌唱の楽曲と違うことを捉える。しかし、繰り返しが無いというこれまでと特徴の違う楽曲であっても音符をつなげて音の高低を見ることで盛り上がりや、リズムを見ることで穏やかに聴こえることを捉え、歌唱の学習では歌詞や楽譜に分けて盛り上がりや楽譜の特徴を読み取るとこれまでと同じようにひみつを見付けることができることを確認する。また、モデルとなった岩瀬牧場と鐘の写真から、情景を想像する。そして、次時に向けて「さくらさくら」では、曲の特徴を生かして歌うと、自分の歌がより素敵なものになったことを想起し、『まきばの朝』でも曲の特徴を生かして歌おう」などと思いや意図をもって工夫して歌唱することへの意欲を高める。</p>	<p><b>【認知段階】</b></p> <p>これまでの学習でどのような技があったかを確認し、音楽の技リストと音楽の宝箱リストにまとめて共有している。リストから選択して進めることで、より詳しくひみつを見付けられ、自分の考えがもちやすくなることを教示している。</p> <p><b>【想起段階】</b></p> <p>「ゴールを達成するためにはどうすればよかったですか」と問いかけて、「音楽の技リスト」や「音楽の宝箱リスト」を確認して、「これまでに学んだことから、使えそうなものを選ぶ」方法を想起できるようにする。また、方法の想起が不十分な子供には掲示物を注目するように声を掛け、これまでの学習のワークシートと合わせて見るように促すことで方法を想起しやすくする。</p>
	<p><b>② 曲のひみつに合う歌い方を考えて歌おう</b></p> <p>①時で見付けた楽曲のひみつを基にして、歌い方を工夫する。その際に朝の静かな様子を歌うために弱く歌う、というようにどのように歌い、強弱や音色などをどのように工夫するのかを分けてワークシートに記入する。録音機能を活用し、自分の歌声を聴いて、思いや意図に合う歌唱ができてきているかを確認する。何度か録音をすることで歌唱を比較しながらよりよい演奏へと仕上げていく。録音のデータを学習支援アプリで共有し、友達の表現のよさを見付けて交流して、「録音、聴く、再考する」を繰り返しながらよりよい演奏を目指す。</p>	<p> <b>ゴールを達成するために</b></p> <p><b>これまでに学んだことから 使えそうなものを選ぶ</b></p> <p>ワークシート、音楽の技リスト、音楽の宝箱リスト</p> <p>【方法に関する掲示物】</p>

6 本時の学習

目 標	楽曲の感じ取った曲想を基にしながら、リズムや旋律などの特徴、歌詞の内容に目を向けて音楽の構造を理解することを通して、楽曲の情景について気付くことができる。
--------	---

学習活動と手立て	主な子供の意識				
見 通 し	1 本時の学習課題を設定する。	<p>明るい曲で、のんびりとして朝に聴くと目が覚める曲だと思ったよ。</p> <p>歌詞が生活について書いているようだった。</p> <p>題名は何なんだろう。</p> <p>「まきば」は「牧場」のこと牛がのんびり歩いている感じ。だからのんびりしている曲なんだね。</p> <p>「まきばの朝」の曲についてもっと詳しく知りたいな。</p> <p><b>「まきばの朝」のひみつを見付けよう</b></p> <p>私は歌詞から進めるよ。歌詞の自然を表す言葉を見付けていくとよさそう。朝の様子が詳しく分かりそう。</p> <p>音楽の技リストを見ると「さくらさくら」は楽譜のリズムの繰り返しを見付けたよ。繰り返しが見付かるかな。</p> <p>「さくらさくら」の学習に似ているよ。歌の学習で習ったことが使えそうだ。</p>			
	2 曲の特徴を捉える。 (1) 個人 (2) 自由交流	<p>今日の歌詞は三番までであるよ。まず一番と二番を比べよう。</p> <p>楽譜は五段もあるよ。同じリズムの繰り返しがないよ。</p> <p>二番は人々が起きて出して少し音が強くなりそうだ。一番は二番よりも前の時間のことなんだね。</p> <p>短い音符や長い音符を組み合わせさせているよ。一番高い「レ」で曲が盛り上がるのかな。</p> <p>歌詞から考えた友達と交流すると新しい意見を発見したよ。</p> <p>楽譜からリズムの特徴が分かったよ。全部違うリズムだった。</p> <p>3人の友達と意見を交流して分かったことがあったけど、他の友達は何を見付けたんだろう。知りたいな。</p>			
		行 動	3 全体で曲の特徴を整理する。	<p>歌詞からは一番二番三番で時間が変わっていることが分かったよ。</p> <p>楽譜からは一段目から五段目まであるけど違うリズムになっていたよ。</p> <p>一番二番三番で鳴っている音が変わるよ。牧場の様子が変わるからだね。</p> <p>細かい音符や伸ばす音符が出てきてそれぞれの段に特徴があるよ。</p> <p>鐘のある岩瀬牧場の朝の様子を歌ったんだね。</p> <p>一番盛り上がる場所は五段目になると思った。音を強調したいから。</p> <p>友達の意見を聞いたり、牧場や鐘の写真を見たりすると納得する部分があった。「まきばの朝」の情景がよく分かった。</p>	
			振 り 返 り ・ 見 通 し	4 本時の学習を振り返る。	<p>詳しく知ることができたよ。朝のだんだん明るくなる様子が分かったから、速度はゆっくりで、だんだん強く歌いたいな。</p> <p>〇〇さんと交流することで新しい発見をすることができたよ。これからも友達と交流することを大切にしたい。</p> <p>今日分かったことが次の歌い方の工夫につながっていくんだ。</p>

評 価	これまでの経験を友達と振り返り、歌詞や楽譜から曲の構造を見ていけばよいことに気付き、情景や時間帯といった楽曲の特徴を捉えたり、盛り上がりを見付けたりして、曲想や歌詞の特徴、内容の関わりについて気付いている。 (方法：発言、様相、ワークシート)
--------	--



